

仙台稲作情報 2023 (第7号)

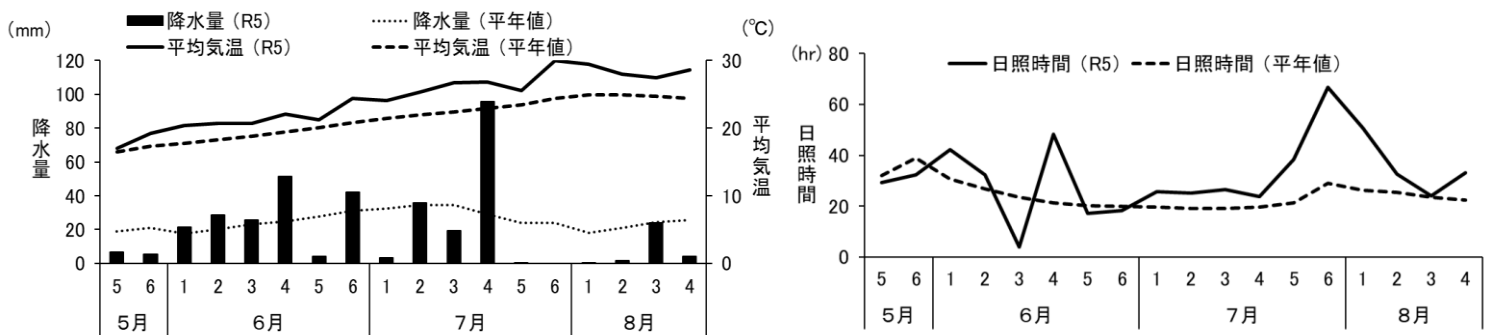
宮城県仙台農業改良普及センター TEL : 022-275-8410 FAX : 022-275-0296

http://www.pref.miyagi.jp/sd-nokai E-mail : sdnokai@pref.miyagi.lg.jp

栽培管理のポイント

▷ 高温の影響により米の登熟は平年と比較して早くなると見込まれます。刈遅れによる品質低下を防ぐため、**籾の熟色をよく観察して適期刈取りに努めましょう！**

1 気象経過



- ・ 7月は高気圧に覆われ、晴れて気温の高い日が多くなりました。特に16日と17日及び25日以降は県内各地で猛暑日を観測するなど厳しい暑さとなり、観測開始以降7月の月平均気温が最も高くなりました。
- ・ 東南北部は、7月22日ごろ梅雨明けしたとみられます。
- ・ 8月上旬から中旬にかけては、晴れて気温が高くなる日が多かったですが、局所的に雷雨になることもありました。

2 出穂状況

管内全体の出穂期は7月28日、穂揃期は8月3日となり、それぞれ平年より**5日早く**なっています。

表1 管内の出穂状況（地帯区分別）

地帯区分	出穂始期	出穂期	穂揃期
山間高冷	7/27	7/30	8/4
西部丘陵	7/22	7/28	8/3
北部平坦	7/24	7/28	8/3
南部平坦	7/24	7/28	8/2
仙台湾沿岸	7/27	7/29	8/3
仙台普及センター管内平均 (平年差)	7/24 (5日早い)	7/28 (5日早い)	8/3 (5日早い)
県全体 (平年差)	7/26 (3日早い)	7/30 (3日早い)	8/5 (5日早い)

※ 50%以上出穂したほ場を「出穂期に達した」とし、地帯区分別の出穂始期、出穂期、穂揃期は、「出穂期に達した」面積が、当該区域の水稻作付面積の5%、50%、95%以上となった日とする。

※ 普及センター管内全体の「平年差」は、平成30年から令和4年までの5か年平均との差。

※ 県全体の「平年差」は、過去10年（平成25年～令和4年）のうち、最も早い年と遅い年を除いた8か年平均との差。

3 生育概況

(1) 移植栽培（ひとめぼれ）

各生育調査ほの出穂期は、平年より5～7日程度早い状況でした。また、穂揃期の葉色は、30.9で平年より低い値でした。

表2 生育調査ほにおける出穂期及び穂揃期の葉色

品種	地帯	場所	田植日	出穂日			葉色値 (GM値)		
				本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	仙台湾沿岸	仙台市宮城野区	5/14	7月30日	-8	-5	31.9	-5.8	-3.1
	北部平坦	大郷町鶉崎	5/14	7月29日	-10	-7	28.3	-1.1	-3.7
	西部丘陵	仙台市泉区	5/11	7月23日	-3	-7	32.4	+2.4	-0.5
	管内平均			7月27日	-7	-6	30.9	-1.5	-2.2
ササニシキ	北部平坦	大和町鶴巣	5/16	7月25日	-	-	33.4	-	-
	仙台湾沿岸	仙台市若林区	5/15	7月26日	-5	-7	35.7	-0.3	-1.4
	管内平均			7月25日	-	-	34.6	-	-
だて正夢	北部平坦	大郷町土橋	5/19	8月4日	-9	-7	35.2	-0.6	-0.2
	仙台湾沿岸	仙台市若林区	5/10	7月31日	0	-	39.9	-0.9	-
	管内平均			8月2日	-5	-	37.6	-0.8	-
金のいぶき	仙台湾沿岸	仙台市若林区	5/10	8月2日	-	-	34.4	-	-

※平年比の計算は、直近3か年の平均値を使用。大和町鶴巣「ササニシキ」及び仙台市若林区「金のいぶき」は、新規生産者のほ場であるため平年値なし。

※出穂日：当該ほ場の稲の出穂が50%に達した日。

(2) 乾田直播栽培

乾田直播栽培の普及展示ほ（品種：ササニシキ）の出穂日は7月30日頃とみられ、昨年より9日早くなっています。

品種	地帯	場所	播種日	出穂日			葉色値 (GM値)		
				本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
ササニシキ	仙台湾沿岸	仙台市若林区	4月6日	7月30日	-9	-	33.3	-11.6	-

4 今後の管理

(1) 高温の影響と対策

- ・早期落水による登熟不良や品質低下の影響が出やすくなります。落水時期は、出穂後30日以降を目安として実施してください。
- ・刈取り適期が早くなる可能性が非常に高いです。刈取りに向けた収穫機械や乾燥調製施設等の清掃、点検を早めに行い、刈遅れがないようにしましょう。
- ・出穂期や籾数の違いにより登熟の進展に差が生じることから、ほ場ごとに籾の熟色等をよく観察して刈取り適期を判定しましょう。

(2) 水管理

- ・落水時期の適期は出穂後30日からとなりますが、ほ場条件、天候、登熟条件などを考慮して落水時期を決定しましょう。
- ・落水後も好天が続く、田面が過乾燥になるときは、走り水程度のかん水をしましょう。

(3) 刈取適期

- ・刈取適期の目安は、出穂期後の平均気温を積算し、合計した数値が概ね1,000℃に達した頃となります。収穫適期に達する積算気温は品種によって異なるので、表3「刈取適期の目安」及び表4「出

穂後の積算気温による刈取時期の目安」を参考にして適期刈取に努めましょう。

- ・一般的には、籾の80～90%程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から3分の1程度黄変したときが成熟期です。穂をよく観察して判断しましょう。
- ・籾水分からも刈取適期の判断ができます。25%（刈取早限）～21%（刈取晩限）が目安です。
- ・「だて正夢」は、刈取りが早過ぎた時や遅すぎた時に玄米タンパク質含有率が高くなる傾向があります。適期幅が2日程度しかないので、天気を確認しながら計画的に作業をしましょう。
- ・「金のいぶき」は、成熟期が「ひとめぼれ」より遅い品種です。また「ひとめぼれ」より穂発芽しやすいので、積算気温を目安に籾（穂）の熟色を確認して早めに刈取りましょう。

表3 刈取適期の目安

【仙台】	出穂期			
	7月25日	7月30日	8月5日	8月10日
ひとめぼれ	8/29～9/4	9/4～9/11	9/12～9/19	9/18～9/26
ササニシキ	8/28～9/7	9/3～9/14	9/11～9/23	9/18～9/30
だて正夢	9/1～9/3	9/7～9/9	9/15～9/17	9/22～9/24
金のいぶき	9/2～9/7	9/9～9/13	9/17～9/22	9/24～9/29

【大衡】	出穂期			
	7月25日	7月30日	8月5日	8月10日
ひとめぼれ	8/30～9/5	9/4～9/12	9/12～9/21	9/18～9/28
ササニシキ	8/30～9/9	9/5～9/16	9/13～9/25	9/20～10/3
だて正夢	9/3～9/4	9/9～9/10	9/17～9/19	9/25～9/26

【鹿島台】	出穂期			
	7月25日	7月30日	8月5日	8月10日
ひとめぼれ	8/30～9/5	9/4～9/12	9/12～9/20	9/18～9/28
ササニシキ	8/29～9/4	9/5～9/15	9/13～9/24	9/20～10/8
だて正夢	9/2～9/3	9/9～9/10	9/17～9/18	9/24～9/26

表4 出穂後の積算気温による刈取時期の目安

品種	出穂後の積算気温
ひとめぼれ	940～1,100℃
ササニシキ	930～1,170℃
だて正夢	1,020～1,060℃
金のいぶき	1050～1,150℃
まなむすめ	960～1,050℃
みやこがねもち	1,000℃前後

※出穂期が7/25、7/30、8/5、8/10であった場合の品種毎の刈取適期の目安。

※気象データは各地点のアメダステータを使用。8月20日までは実測値、それ以降は平年値を使用。

※気温が平年よりも高い予報となっているため、「刈取適期の目安」は記載した日数より早くなる可能性もある。

※各出穂日に対する刈取適期の算出は、表4に基づいて計算した。

◎ 籾熟色によるコンバイン収穫期の予測・判定

「ひとめぼれ」では、穂数および稈の長さが平均的な株（枝梗数8本）の中位二次枝梗籾（図1）の籾色を観察することで、成熟段階の判定が可能であり、刈取適期を予測することができます（表5）。

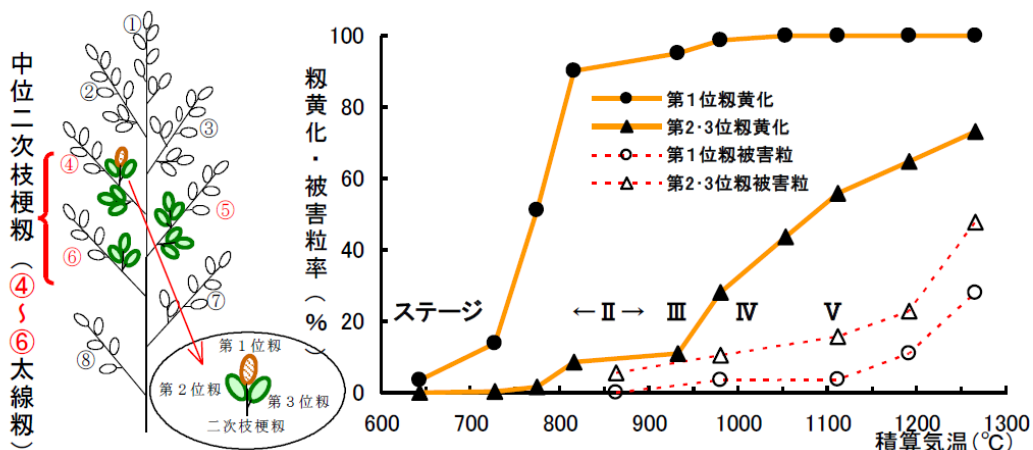


図1 積算温度と穂の中位二次枝梗籾黄化率の推移

表5 「ひとめぼれ」の籾色による成熟段階

成熟段階	籾熟色	備考
I	第1位籾が急速に黄化開始。	
II	第1位籾がほぼ黄化(90%)。	7日以内に刈取り早限
III	第1位籾がほとんど黄化し(95%)、第2・3位籾が黄化開始。	刈取早限(刈取適期ここから)
IV	第1位籾の黄化100%、第2・3位籾が30%黄化。	積算気温1,000℃程度
V	第2・3位籾が50%以上黄化。	刈取晩限(刈取適期ここまで)

5 収穫作業

- ・コンバイン収穫では籾水分が高いと損傷が多くなるので、**籾水分 25%以下を目標に刈取作業**をしましょう。
- ・今年度作付けしている品種が前年と異なるほ場では、漏生籾（こぼれ籾から発芽した稲）の発生に注意し、草姿や成熟が明らかに異なる株は可能な限り抜き取りましょう。
- ・複数の品種の刈取を行う場合には**品種が替わる際に十分な清掃**を行い、異品種の混入防止に努めましょう。
- ・倒伏している場合は**刈分けを実施**し、収穫物に石など異物が混入しないよう注意しましょう。

6 乾燥調製

- ・収穫した生籾を放置すると発熱して変質米の原因になるので、**刈取り後速やかに乾燥機に張り込み送風**しましょう。
- ・倒伏した稲や未熟粒の多い稲など**高水分の籾を機械乾燥する場合は、二段乾燥**(籾水分が 18%程度になったら火力乾燥を一時中断し、一定時間通風循環後仕上げ乾燥を行う)を行い、水分ムラや胴割米の発生を抑えましょう。
- ・正確な水分測定のためには、玄米の測定サンプルから未熟粒を取り除いて測定しましょう。また、こまめに水分測定して過乾燥を防止しましょう。**仕上がり玄米水分は 14.5%～15.0%が目標**です。
- ・籾摺は肌ずれ防止のため、籾の温度を室温まで下げてから行いましょう。また、ロール式籾摺機の場合は、籾に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。
- ・異品種の混入を未然に防ぐため、品種が替わる毎に機械類の清掃を徹底しましょう。
- ・「だて正夢」では、**充実した玄米を確保するためふるい目は 1.9 mmとします**。

7 東北地方の向こう 1 か月の天候の見通し（8/17 仙台管区气象台発表）

予報のポイント

○暖かい空気が流れ込みやすいため、向こう 1 か月の気温は高いでしょう。特に 8 月 27 日頃からはかなりの高温が予想されています。